

# 株主懇談会

株式会社リョーサン

---

2014年6月20日

# 1. 新役員体制のご紹介

## 2. 第9次中期経営計画

## 3. 2014年度 業績計画

### 資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場(日本、アジア等)の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動等

# 1 . 新役員体制のご紹介

## 2 . 第9次中期経営計画

## 3 . 2014年度 業績計画

# 役員体制（取締役11名）

代表取締役	社長 兼 企画本部長	三松 直人
常務取締役	営業統括本部長 兼 国内第三営業本部長	栗原 宏幸
	技術本部長 兼 半導体第一事業本部長	坂田 敏文
取締役	国内第一営業本部長 兼 半導体第二事業本部長	佐藤 和典
	海外営業本部長 兼 電子部品事業本部長	本間 宏二
	国内第二営業本部長	澁谷 裕
	生産事業本部長	高林 聡
	財経本部長	佐野 秀一
	電子機器事業本部長	吉泉 康雄
	管理本部長	坂元 岩男
社外取締役		小松 正明

# 役員体制（監査役4名）

---

---

監査役（常勤）

関 晴光

---

監査役（常勤）

本田 健

---

社外監査役

中野 廣太郎

---

社外監査役

藤野 利行

---

株式会社リョーサン  
**第9次中期経営計画**

## 基本姿勢

### 第9次中期経営計画の基本姿勢

# 「変革」と「成長」

事業構造の変化に対応した  
「ビジネスモデルの転換」と持続可能な「自律的成長」の追求

### 普遍的な経営姿勢

「経営の本質を探究し、経営の革新を進め、  
経営の成果を挙げる」ことを基軸に、  
「オープンでクリーンな企業経営」と「創造性豊かな事業活動」を実践する

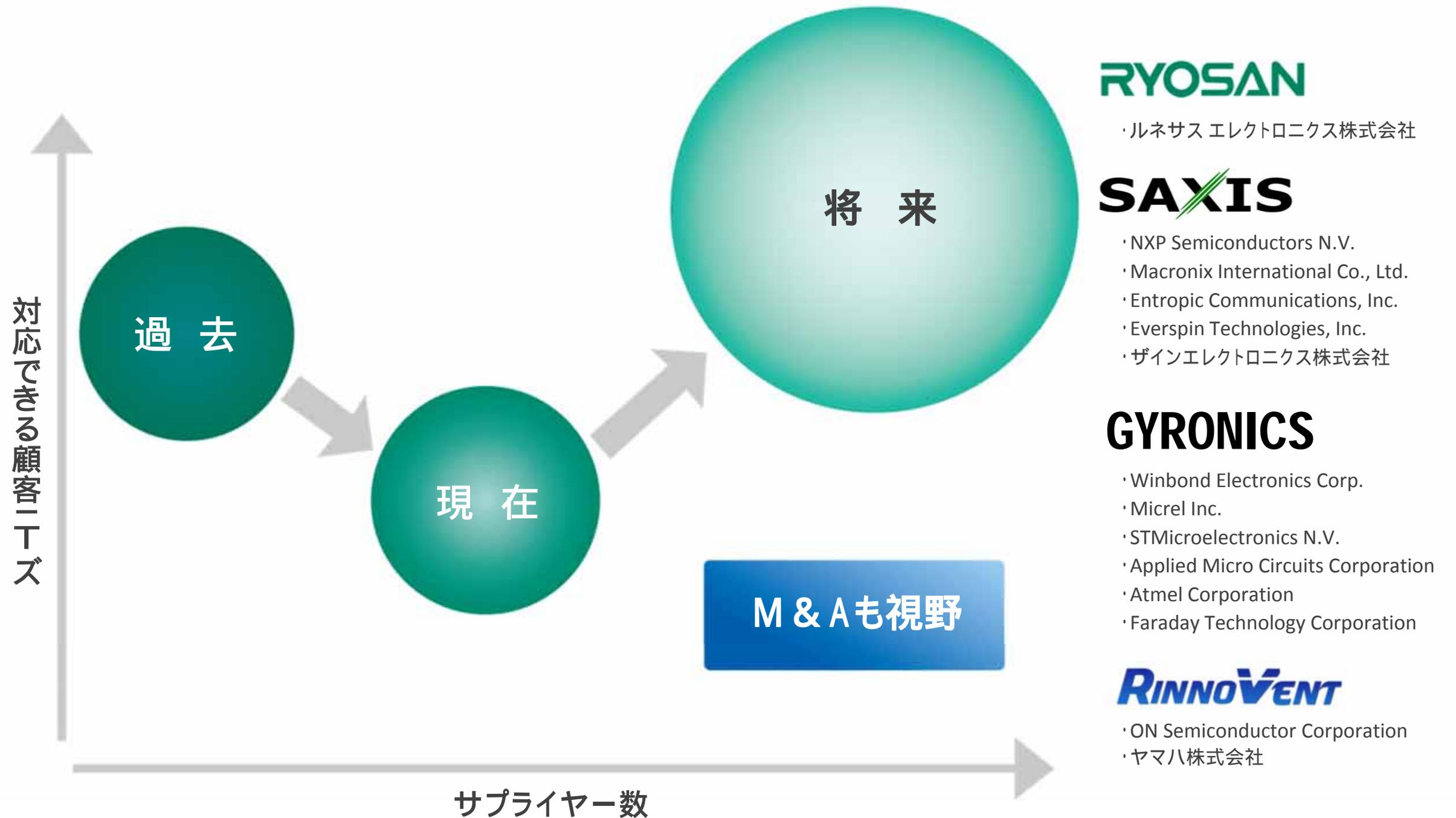
## 成長戦略

多様化する顧客ニーズに対応したマルチベンダー化の更なる推進

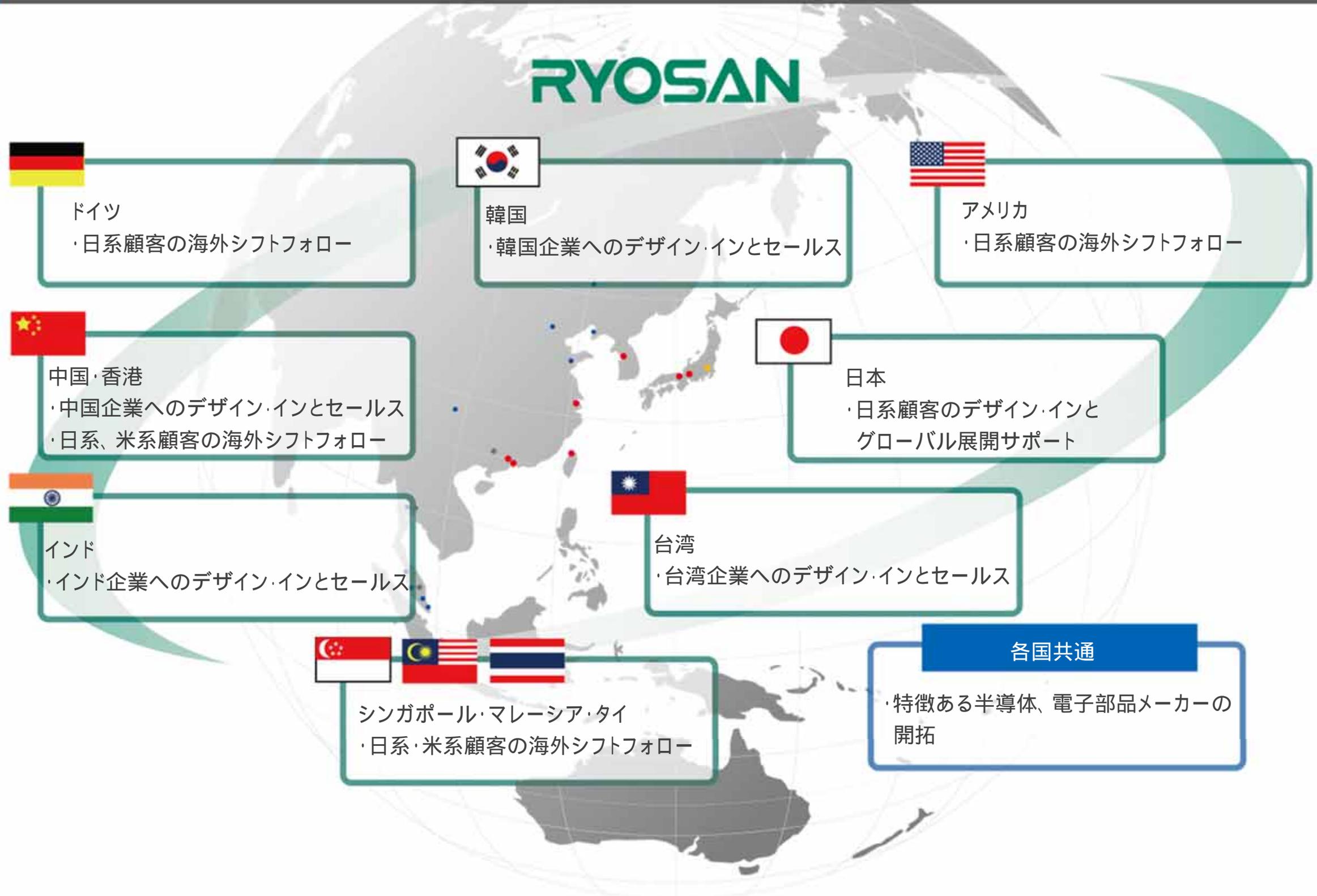
グローバル対応強化による海外ビジネスの拡大

システムソリューション力(システム技術力+組込システム力)の強化による  
新たなビジネスモデルの創出

# 多様化する顧客ニーズに対応したマルチベンダー化の更なる推進



## グローバル対応強化による海外ビジネスの拡大



## システムソリューション力の強化による新たなビジネスモデルの創出

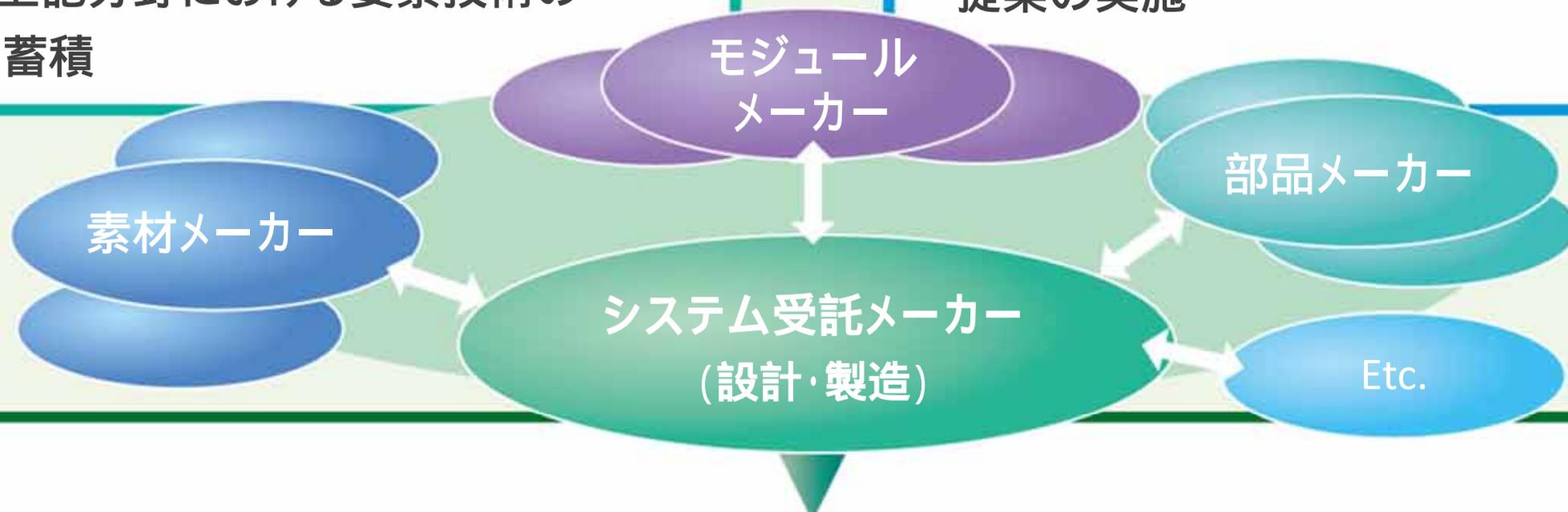
### リョーサンのシステムソリューション

#### システム技術力 (具現化)

- ・成長分野、大量消費分野のシステム技術力の拡充
- ・上記分野における要素技術の蓄積

#### 組込システム力 (コーディネート)

- ・核となる保有技術(モジュール・ボード等)をベースとした付加価値提案の実施



お客様

**事業戦略** **半導体  
事業戦略**

主力のルネサスエレクトロニクス、外資系半導体の  
デザイン・イン活動を強化し、事業拡大を目指す。

 **電子部品  
事業戦略**

サプライヤーの戦略とベクトルを合わせた拡販活動を展開し、  
カーエレクトロニクス、インダストリー等の分野で事業拡大を  
目指す。

 **電子機器  
事業戦略**

組込システム力の強化をベースに、新規リソースによるモジュール、  
部品ビジネス等を推進するシステムソリューションビジネスに  
注力すると共に、ハードウェア、素材、サービスの3極ビジネスの  
展開を図る設備機器ビジネスの強化により、事業拡大を目指す。

## 事業戦略



### 生産事業戦略

2014年9月1日付予定で三協立山株式会社に  
事業譲渡した後も、代理店として販売活動に注力する。



### 技術戦略

技術商社として長年蓄積してきた半導体の技術を中心に、  
電子部品、組込製品へと技術サポートの領域を拡大し、  
システムソリューション力を支えるシステム技術力を強化する。

## インフラ戦略

### 経営の質的強化

- ・ 社外取締役・社外監査役によるガバナンス強化。
- ・ グローバルな内部統制の強化。
- ・ CSRのグループ会社への強化。
- ・ グローバルなリスク対応力(法務、税務面)の強化。

### 経営基盤の強化(連結経営の強化)

- ・ グローバルな情報システム(販売・物流・会計)の整備。
- ・ グループ各社の収益・財務体質の強化に向けた体制整備。
- ・ ヘッドクォーター機能(本社経営管理部門)の効率化。
- ・ ダイバシティ・マネジメントによる人材活用。

## 株主様への利益還元の基本方針

### 基本方針

- ・ 安定的に高配当を維持し、2016年度までに80円への復配を目指す。
- ・ 連結業績の動向等を勘案し、自社株買いも引き続き検討。

### 連結配当性向

- ・ 毎年50%以上。

1 . 新役員体制のご紹介

2 . 第9次中期経営計画

3 . 2014年度 業績計画

# 連結業績計画の概要

	2013年度		2014年度		
	実績	売上高比	計画	売上高比	前期比
売上高	2,383		2,270		4.8%
売上総利益	186	7.8%	186	8.2%	0.0%
販売管理費	134	5.6%	135	5.9%	0.3%
営業利益	51	2.2%	51	2.2%	0.9%
経常利益	50	2.1%	53	2.3%	4.9%
当期純利益	32	1.4%	34	1.4%	5.5%
1株当たり 当期純利益	101円86銭		108円06銭		
	実績	構成比	計画	構成比	前期比
国内売上高	1,246	52%	1,250	55%	0.3%
海外売上高	1,137	48%	1,020	45%	10.3%

# 事業別業績計画の概要

		2013年度		2014年度		前期比
		実績	売上高比	計画	売上高比	
半導体事業	売上高	1,615		1,470		9.0%
	営業利益	32.0	2.0%	31.5	2.1%	1.7%
電子部品事業	売上高	543		560		3.1%
	営業利益	14.6	2.7%	15.5	2.8%	5.7%
電子機器事業	売上高	174		195		11.4%
	営業利益	7.0	4.1%	5.5	2.8%	22.4%
生産事業	売上高	50		45		11.0%
	営業利益	0.5		1.0	2.2%	
営業利益調整額		1.8		2.5		
計	売上高	2,383		2,270		4.8%
	営業利益	51.4	2.2%	51.0	2.2%	0.9%

# 株主様への利益還元計画

(単位: 億円)

